

眼科知識シリーズ

# 麦粒腫（ものもらい）の 基礎知識と正しい対処法

原因・症状から治療法・予防の予防策までわかりやすく解説

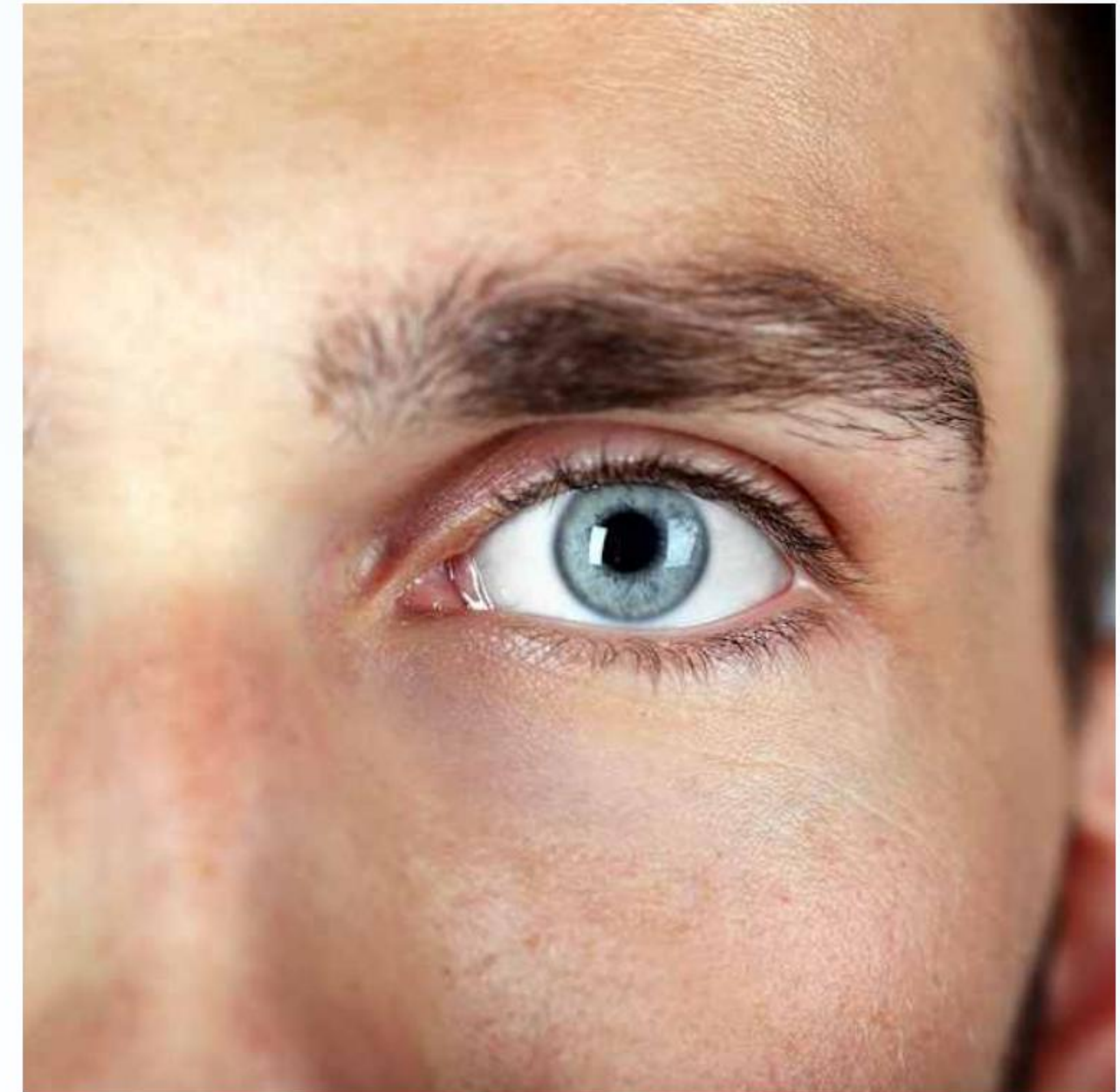
# 麦粒腫の概要

「ものもらい」「めばちこ」と呼ばれる疾患の正体

# 麦粒腫（ばくりゅうしゅ）とは？

麦粒腫は、まぶたにある脂腺や汗腺に細菌感染が起こることによって生じる急性の化膿性炎症です。

- 地域によって「ものもらい」「めばちこ」「めいぼ」など様々な俗称で呼ばれます。
- 人から人へ感染（うつる）病気ではありません。
- 初期症状として、まぶたの局所的な赤み、腫れ、軽度の痛みが現れます。
- 適切な治療を行えば、通常1～2週間程度で快方に向かいます。



# 発生部位による2つの分類

## 外麦粒腫（がいばくりゅうしゅ）

**感染部位：**まつ毛の毛根、腺（ツァイス腺・モル腺）

まぶたの表面近くに発生するため、赤みや腫れが外側から確認しやすい特徴があります。進行すると皮膚側に膿点が形成されます。

## 内麦粒腫（ないばくりゅうしゅ）

**感染部位：**マイボーム腺（脂質分泌腺）

まぶたの深い部分にあるマイボーム腺の感染です。まぶたの裏側（結膜側）に炎症が起きるため、外麦粒腫よりも痛みが強く感じられることがあります。

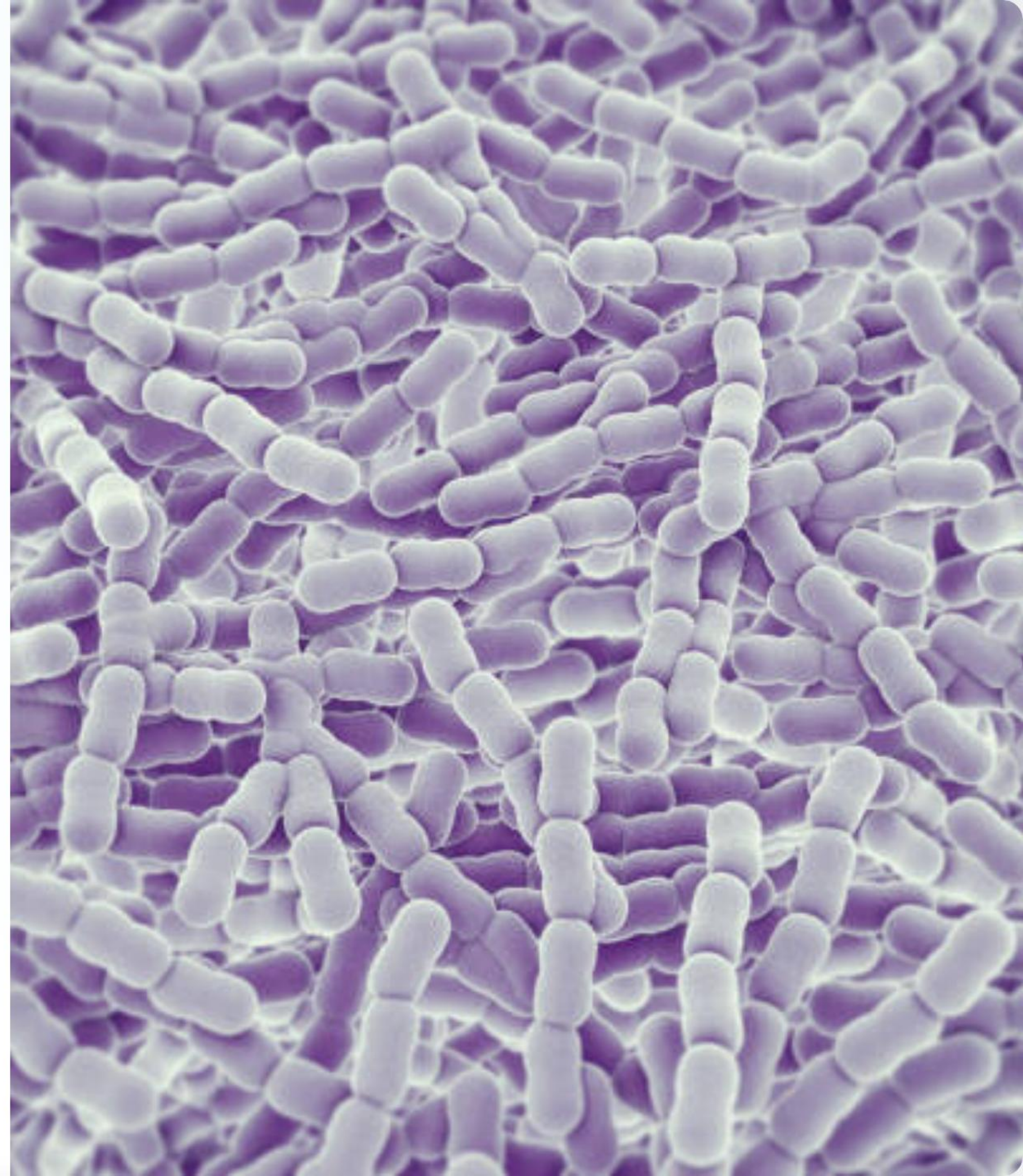
# 原因と発症メカニズム

## 主な原因菌は黄色ブドウ球菌

麦粒腫の多くは、皮膚や環境中に常在している「黄色ブドウ球菌」などの細菌が、腺の開口部から侵入することで発症します。

### 発症を誘発する要因：

- ・手で目をこすることによる細菌侵入
- ・免疫力の低下（疲労・睡眠不足・ストレス）
- ・コンタクトレンズやアイメイクの不衛生な使用



# 麦粒腫の主な症状チェック



## 局所的な赤みと腫れ

まぶたの一部が赤く腫れ上がり、まばたきをする際にも異物感や不快感を感じるようになります。



## 圧痛・自覚痛

患部を押すと痛みを感じ（圧痛）、化膿が進むと触れなくてもズキズキとした痛みを伴うことがあります。



## 化膿・排膿

炎症が進行すると黄色い膿（うみ）が溜まり、やがて皮膚や結膜から自潰して排膿されると痛みは軽快します。

# 麦粒腫と霰粒腫（さんりゅうしゅ）の比較

| 項目      | 麦粒腫（ばくりゅうしゅ）  | 霰粒腫（さんりゅうしゅ）       |
|---------|---------------|--------------------|
| 主な原因    | 細菌感染（主にブドウ球菌） | マイボーム腺の詰まり（無菌性）    |
| 痛み      | 強い痛み・押すと痛い    | 通常は痛みなし（コロコロしたしこり） |
| 赤み・腫れ   | 赤く急速に腫れる      | 赤みは少なく、硬い結節ができる    |
| 治療アプローチ | 抗菌点眼薬・抗菌軟膏    | 温罨法・ステロイド・摘出手術など   |

# 眼科での標準的な治療法



## 抗菌点眼薬・眼軟膏の使用：

原因菌の繁殖を抑えるため、抗菌点眼薬や眼軟膏を適正に使用します。治療の基本となるアプローチです。



## 抗生剤の内服（服薬）：

炎症や腫れが著しい場合や、内麦粒腫で深部に炎症がある場合は、内服の抗菌薬が処方されます。



## 切開・排膿処置：

化膿が進み膿が溜まっている場合、眼科医が局所麻酔下で微小な切開を行い、膿を排出して早期治癒を図ります。

# 治癒までの標準的な期間

1-2

週間程度で回復

## 適切な処置で短期間で軽快

初期段階で眼科を受診し抗菌薬による治療を開始した場合、通常は約1～2週間で炎症が治まります。

※放置したり潰したりすると、炎症が周囲に広がり治癒が遅れる原因となりますので注意が必要です。

# 再発を防ぐ日常のケア



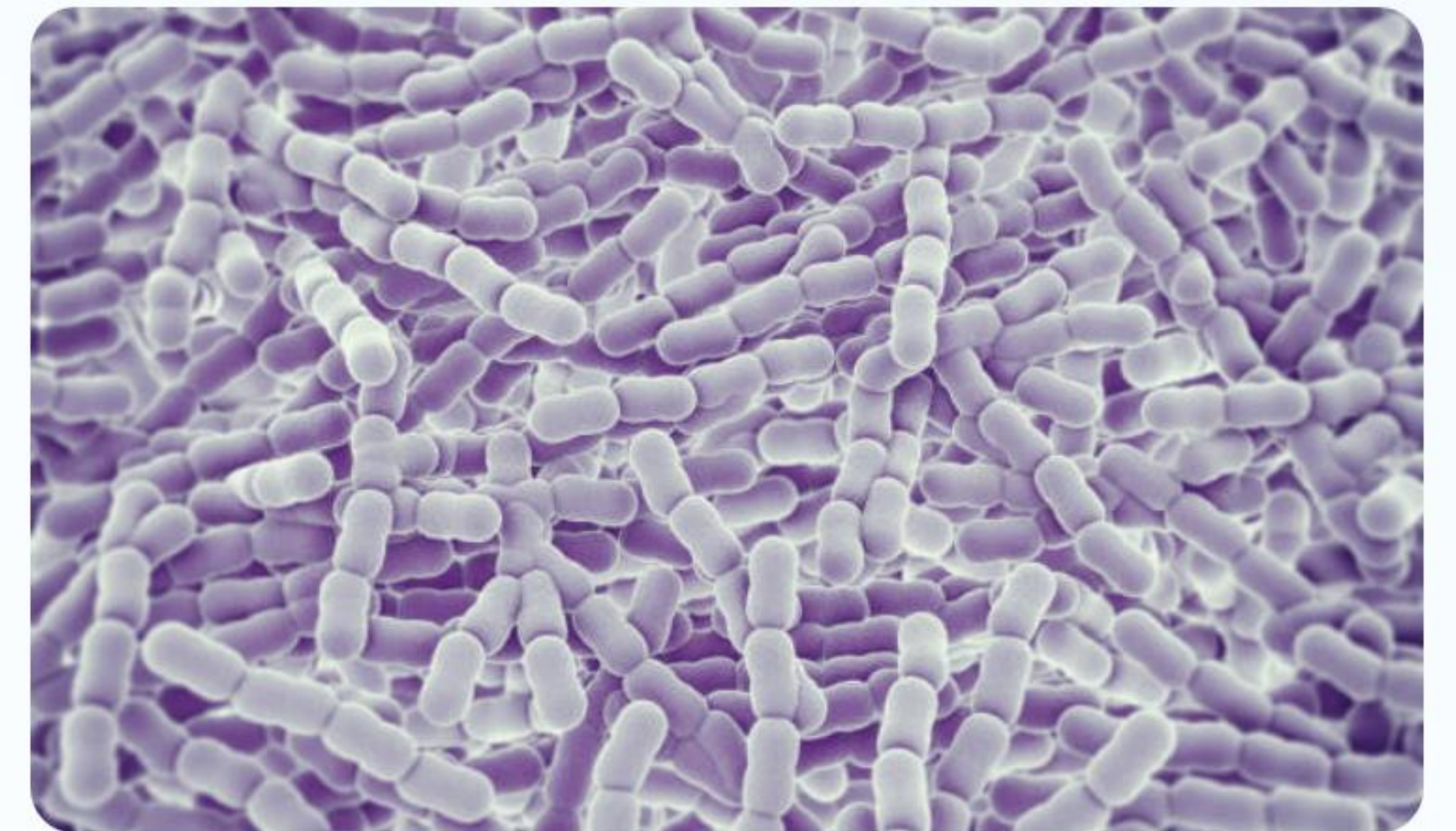
## 手洗い・衛生管理

顔や目に触れる前には必ず石けんで手を洗う習慣をつけましょう。



## 目元の清潔維持

メイク残りを防ぎ、コンタクトレンズの装用時間を正しく守ります。



## 免疫力の維持

十分な睡眠とバランスの良い食事で免疫低下を防ぐことが重要です。

# 発症時にやってはいけないNG行動

## 自力で潰す・膿を押し出す

潰すと手から別の雑菌が入ったり、組織の奥に感染が広がって重症化・痕が残るリスクが高まります。絶対に控えましょう。

## コンタクト・アイメイクの継続

レンズやメイク用品が患部を刺激し、回復を著しく遅らせます。完治するまではメガネで過ごし、アイメイクはお休みしてください。

# ご静聴ありがとうございました

まぶたに違和感を覚えたら、早めに眼科医へご相談ください。

眼科健康啓発資料 | 麦粒腫の基礎知識

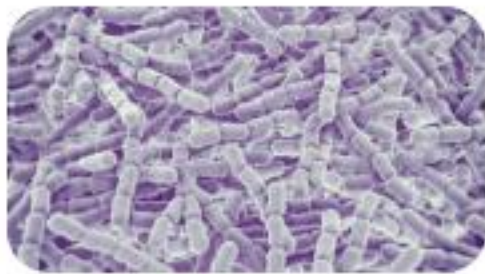
# Image Sources



[https://ysm-res.cloudinary.com/image/upload/ar\\_1:1,c\\_fill,g\\_faces:auto,w\\_auto/q\\_auto:eco/dpr\\_auto/f\\_auto/c\\_scale,w\\_600/v1/yms/prod/920a273a-2186-4e21-92ac-df055da3bf2d?\\_a=DAJKG5DbZAAA](https://ysm-res.cloudinary.com/image/upload/ar_1:1,c_fill,g_faces:auto,w_auto/q_auto:eco/dpr_auto/f_auto/c_scale,w_600/v1/yms/prod/920a273a-2186-4e21-92ac-df055da3bf2d?_a=DAJKG5DbZAAA)

Source: [www.yalemedicine.org](http://www.yalemedicine.org)

---



<https://media.istockphoto.com/id/1387482034/photo/streptococcus-pneumoniae-bacteria-cells.jpg?s=612x612&w=0&k=20&c=8hqzd2XgzegrrjEYpuvvg7CpNI4wbqu39lQJQOu kj5Sco=>

Source: [www.istockphoto.com](http://www.istockphoto.com)

---



[https://res.cloudinary.com/dpmykpsih/image/upload/c\\_fill,f\\_auto,q\\_auto,w\\_640/iredell-health-system-site-359/media/f82b0084c5f84172999007af175b129b/5-steps-to-clean-hands-1.png](https://res.cloudinary.com/dpmykpsih/image/upload/c_fill,f_auto,q_auto,w_640/iredell-health-system-site-359/media/f82b0084c5f84172999007af175b129b/5-steps-to-clean-hands-1.png)

Source: [www.iredellhealth.org](http://www.iredellhealth.org)